

田原中だより

学力特集号

北九州市立田原中学校
学校だより

校長 林 昭裕

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語，数学，理科）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

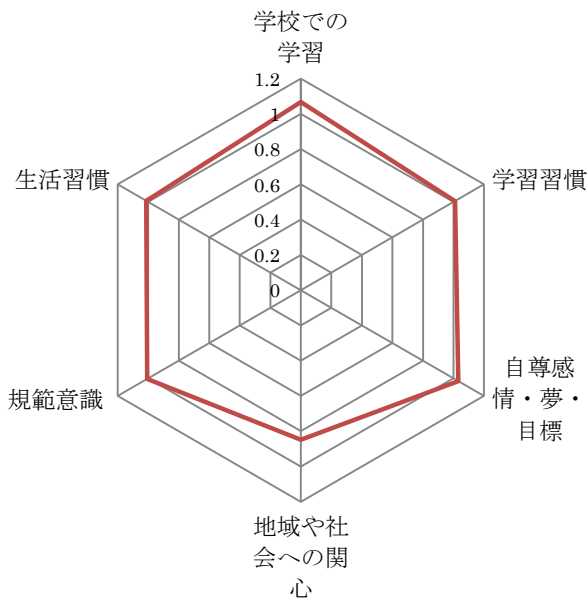
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要



教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語A	どの領域も全国平均を大きく上回っている。話すこと・聞くことに関する力が身につけており、話の論理的展開に注意して聞いたり、話合いの話題や方向をとらえて的確に話すことができる。	上回っている
国語B	場面の展開や人物の描写に注意し、理解する力がしっかりとついている。文章の構成や展開についての自分の考えを持つことや文章とグラフとの関係から内容をとらえる問題などに課題がある。	上回っている
数学A	数と式、関数、資料の活用の領域で、全国平均を大きく上回っている。計算問題や方程式を解くこと、図形を書くことなど数学的な技能や、数量・図形などについての知識が身につけている。	上回っている
数学B	数と式、図形、関数、資料の活用の領域で、全国平均を大きく上回っている。与えられた情報から必要な情報を選択し的確に処理したり、数学的に表現したりすることなど、数学的な見方や考え方が身につけている。	上回っている
理科	第1分野、第2分野ともに全国平均を大きく上回っている。特に、自然事象への関心、意欲が高く、知識がしっかりと身につけており、学習内容がきちんと理解されている。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

・基本的な生活習慣が確立されている生徒が多く、規範意識も高い水準であり、落ち着いた学校生活を送ることができている。

・学校での学習に対して、意欲的に取り組んでおり、学習習慣も身につけている生徒が多い。宿題や課題にもきちんと取り組み、家庭学習が充実している。

・地域社会への関心は低くはないが、地域行事などへの参加する機会が少なく、今後地域とのつながりを深めていく必要がある。



3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 各授業においてめあて・まとめカードを使用し、振り返りの学習についても充実させていく。
- 全学年で主体的、対話的で深い学びを目標とした授業を実践する。ICT機器を有効に使い、分かりやすい授業づくりに努める。
- 週末課題の実施、定期考査前の「これテス」「予想問題」などの取組による、基礎学力定着の徹底。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 各教科において、計画的に宿題を課し、家庭学習習慣を確立させる。
- 家庭学習ノート（T1ノート）、生活ノートを活用し、計画性のある家庭学習に取り組みさせる。
- 学校便り等で本校の学力について保護者に周知し、課題を共有することで協力体制を整える。